

放送大学学園 動画利用授業について

- ・「職場のコミュニケーション」という単元名で、3 時間扱いで実施
- ・高等部 3 年生 91 名を 3 グループに分けて 24 名程度の人数で実施。
- ・授業時間は 45 分間
- ・基本的な展開方法；動画を上映。視聴しながら主人公が相談をすべきタイミングで静止し設問を表示して投げかける。
- ・生徒それぞれの考えをプリントに記入したり、発表したりして意見交換をする。

動画	授業展開について（設問の概要）	生徒の様子について
「体調不良が言い出せない」	・仕事があるのに体調が悪いときどうするか。 ・休職中体調が悪いときどうするか。 ・体調の悪さをどのように伝えるか。どう対応するのが良いか、	・会社に電話して休むという判断も多数。 ・相談と報告の違いについての気づきがあった。「～します」「～してよいですか？」の違い。 ・希望を伝えない→対応してもらいにくい。ロールプレイ。 ・「身近な人」の順序を考えた。 ・医療機関でも症状を伝えることの重要性。5W1H について思い返す。
「仕事のすすめ方に不安がある」 ～不安なときは相談しよう～	・仕事のやり方に不安があるとき誰に相談するか。 ・相談をするときどのように話しかけるか。 ・不安なことを正直に相談することで働きやすくなることもある。	・動画のチラシが不良品かどうか挙手で答える。主人公の判断と挙手の自己判断について考える。 ・相手の都合を聞くことはよく理解できていた。 ・伝えるポイント、具体的に、正直に。相談したいことを伝えて都合を聞く。など補足。
「仕事で注意を受けた時」	・失敗を注意されたときにどのように感じるか。 ・指示を忘れてしまったらどうすればよいか。 ・何度も注意をされてしまったときどのように感じるか。 ・職場で注意を受けてしまったことをどう考えるとよいか。	・わざとじゃないのに。という声もあり。先輩の言い方が悪い という声もあり。 ・同僚に聞くという声もあるが、指示されていないことは解らないと気付く。 ・顔を合わせにくい、頑張るしかないなど。 ・「嫌われているということではない」などに真剣な様子。 ・注意は「話し合い」という表現が難しい様子。 ・様々な体の反応は深呼吸で収まることを実践。